2026 年 9 月 11 日
日本銀行福岡支店

Bank of Japan Fukuoka Branch

九州・沖縄の金融経済概況

（2026 年９月）

当資料は当店ホームページに掲載しています　https://www3.boj.or.jp/fukuoka/

＜内容に関するお問い合わせ先＞　日本銀行福岡支店営業課 Tel：092-725-5513

１．総論

○　九州・沖縄の景気は、令和８年熊本地震の影響などから一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに回復している。

最終需要の動向をみると、個人消費は、物価上昇などの影響を受けつつも、堅調に推移している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。公共投資は、増加している。設備投資は、高水準で推移している。輸出は、緩やかに増加している。

こうした中で、生産は、熊本地震の影響から一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに増加しつつある。雇用・所得情勢をみると、改善している。

先行きについては、令和８年熊本地震の復旧・復興動向、今後の中東情勢の展開や原油価格の動向、ＡＩ関連需要を含む海外の経済・物価動向、コスト高とその波及などが、当地の経済・金融情勢に与える影響に留意する必要がある。

＜景気判断の前回との比較＞

項目		基調判断	
		前回	今回
景気全体		一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに回復している。	令和8年熊本地震の影響などから一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに回復している。
需要項目	個人消費	物価上昇などの影響を受けつつも、堅調に推移している。	物価上昇などの影響を受けつつも、堅調に推移している。
需要項目	住宅投資	弱めの動きとなっている。	弱めの動きとなっている。
需要項目	公共投資	増加している。	増加している。
需要項目	設備投資	高水準で推移している。	高水準で推移している。
需要項目	輸出	緩やかに増加している。	緩やかに増加している。
生産		緩やかに増加しつつある。	熊本地震の影響から一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに増加しつつある。
雇用・所得		改善している。	改善している。

２．個人消費

○　個人消費は、物価上昇などの影響を受けつつも、堅調に推移している。

▽個人消費関連の動向

非耐久消費財	百貨店売上高	高水準で推移している。
	スーパー売上高	底堅く推移している。
	ｺﾝﾋﾞﾆｴﾝｽｽﾄｱ売上高	堅調に推移している。
耐久消費財	家電販売	持ち直している。
	乗用車新車登録台数（含む軽自動車）	持ち直している。
サービス	旅行・観光	熊本地震の影響から、弱めの動きとなっている。

３．住宅投資

○　住宅投資は、弱めの動きとなっている。

７月の新設住宅着工戸数は、分譲の増加を主因に前年を上回った。

４．公共投資

○　公共投資は、増加している。

７月の公共工事請負金額は、国の減少を主因に前年を下回った。

５．設備投資

○　設備投資は、高水準で推移している。

７月の建築物着工床面積（民間非居住用、後方３か月移動平均）は、前年を上回った。

６．輸出

○　輸出は、緩やかに増加している。

　７月の輸出額（九州経済圏）は、前年を上回った。

７．生産

○　生産（鉱工業生産）は、熊本地震の影響から一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに増加しつつある。

▽主要業種の生産動向

輸送機械	自動車は、熊本地震の影響から、足踏み状態にある。船舶は、増加している。
電子部品・デバイス	増勢が一服している。
汎用・生産用・業務用機械	振れを伴いつつも増加基調にある。
化学	持ち直している。
鉄鋼・非鉄金属	弱含んでいる。
食料品	振れを伴いつつも減少基調にある。

８．雇用・所得

○　雇用・所得情勢をみると、改善している。

　労働需給をみると、７月の有効求人倍率は、前月から横ばいとなった。

　６月の雇用者所得総額は、現金給与総額と常用労働者数の増加により前年を上回った。

９．物価

○　７月の消費者物価（九州地方、生鮮食品を除く総合）は、前年比＋1.7％となった。

10．金融

○　７月の預金残高をみると、法人預金や個人預金を中心に前年を上回った。

○　７月の貸出残高をみると、法人向けや個人向けを中心に前年を上回った。

○　企業倒産は、振れを伴いつつ増加している。

　８月の企業倒産をみると、件数・負債総額ともに前年を上回った。

以　上